

保護手袋着用



注意

商品を取り出すとき、施工するとき
は、切断面に触れると手を切る恐れ
がありますので注意してください。

引張 : (一財)建材試験センター 性能試験済
第10A1714号 短期基準引張耐力 12.1kN
せん断 : ハウスプラス確認検査 性能試験済
HP10-KT078 短期基準せん断耐力 9.3kN

■使用上のご注意

柱交換用パイプコーナーの使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。指定の用途以外には使用しないでください。腐朽、腐食、湿った木材への取り付けは避けてください。金物取り付けの際、安全を考慮した姿勢と足場を必ず確保してください。

ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。

- ・ バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エアー式は使用しないでください。
- ・ ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めをしないでください。
- ・ 金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。
- ・ 一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
- ・ 堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。

使用箇所・用途

柱と横架材の接合に使用します。
柱頭と柱脚に取り付けることにより、ほぞ加工をしな
いで柱と横架材を接合できます。

接合具

使用本数 (8本)

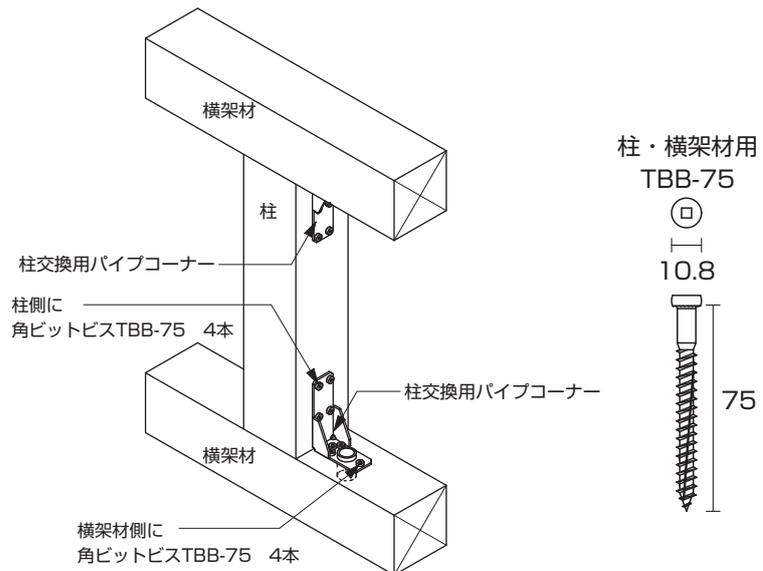
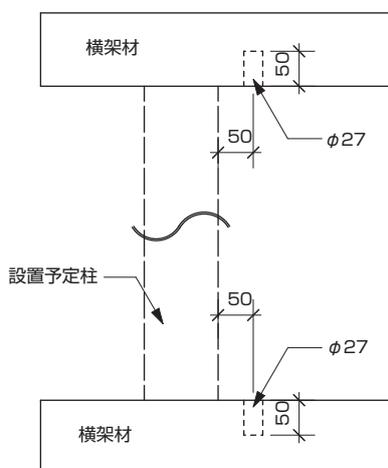
- 〔 柱側……………角ビットビス TBB-75 (4本) 〕
- 〔 横架材側…角ビットビス TBB-75 (4本) 〕

施工方法

1. 横架材に対して柱の位置を決め、横架材に設置する柱の面から50mmの位置に木工用キリφ27で垂直に下穴(深さ50mm程度)をあけます。木工用キリφ27は別途ご用意ください。
2. 柱交換用パイプコーナーを(柱)の刻印のあるほうを柱側にして、ハンマー等でパイプ部をφ27の下穴に横架材と金物本体が接するまで打ち込み、柱と金物本体が直角になるよう位置を合わせます。
3. 横架材に専用角ビットビスTBB-75(4本)でとめつけます。
4. 横架材間の長さに合わせて柱を設置予定位置に入れ込みます。
5. 入れ込んだ柱に専用角ビットビスTBB-75(4本)でとめつけます。

■取付図例

柱頭・柱脚への取り付け位置穴あけ加工図



接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 **タナカ**

(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313
(受付時間) 平日 9:00-17:00
<https://www.tanakanet.co.jp/housing>